

# 愛媛県南宇和郡(なんぐん)愛南町

県最南端、県都松山から自家用車で約3時間、JR宇和島駅まで45km

人口	26,906人(平成19年6月) ← 31,080人(平成9年)
	10年間で約4,000人の減
高齢化率	29.76%(全国平均20.08% 平成18年)
有効求人倍率	0.53(平成19年5月宇和島圏域)、(全国平均1.06)
町内事業所数	1,616カ所(平成18年) ← 1,814カ所(平成13年)
	5年間で198事業所が撤退、倒産等
	撤退企業の中には従業員500名以上の事業所も

## 事業の目的

- ❁ 厳しい地域状況の中、長年の住民ネットワークから立ち上がったNPO法人で、障害者就労支援の基盤づくりを行う。
- ❁ 自立支援法や指定管理者制度を活用し、同様の地域でも応用できる就労支援モデルを確立する。

# 基礎となった住民ネットワーク

## 「共に生きる街 なんぐんへ」



平成元年～(平成18年)

南宇和(精神)障害者の社会参加を進める会  
(現在 個人会員1,303名、団体会員25団体)

平成4年～

当事者クラブ「あじさい」

平成8年～

「進める会」南宇和福祉リサイクル活動

NPO なんぐん市場

昭和60年～

南宇和心の健康を考える会

平成8年～

なんぐん地域ケア研究会

平成8年～

ありんこくらぶ

平成8年～ 愛南町ボランティア連絡会

(高齢者支援「めたかの会」、子育て支援など8団体)

NPO

昭和55年～

地域精神障害者家族会

(たちばな昭和57年～)

NPO

ハンドインハンド

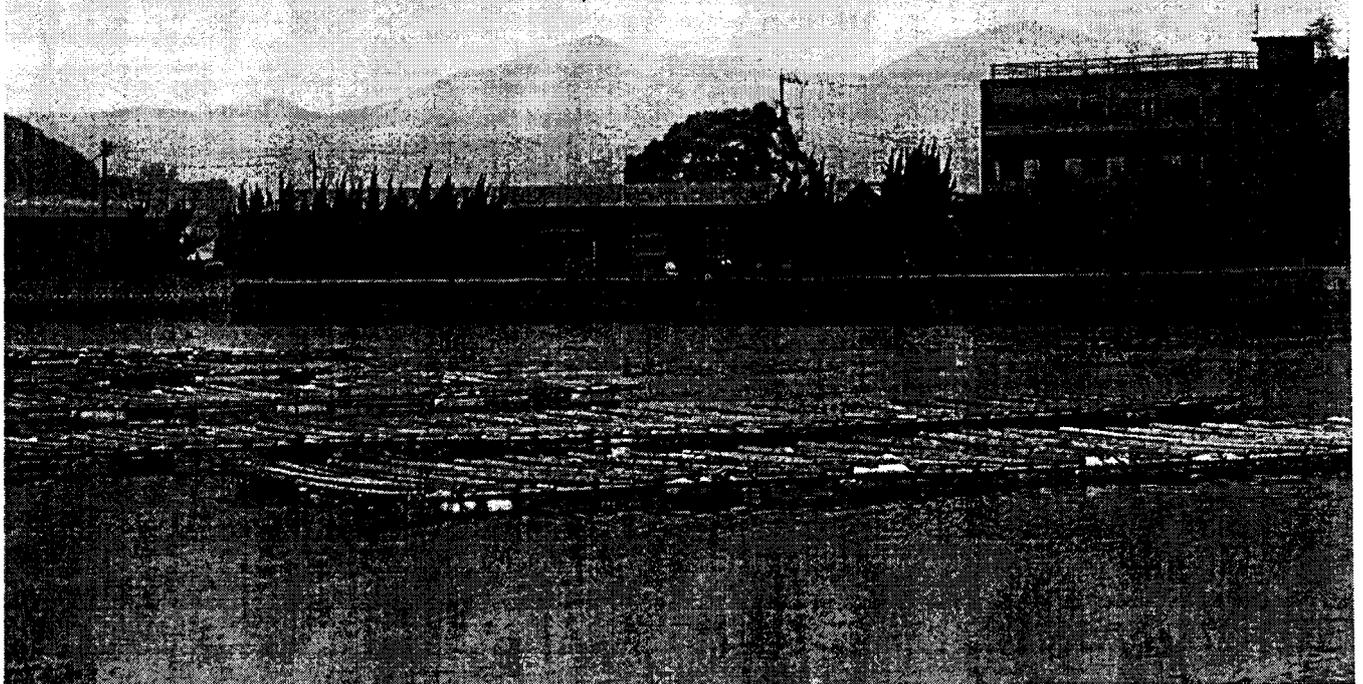
小規模作業所「ころ」

原点 昭和40年代～

社会復帰施設平山寮

## 原点—社会復帰施設平山寮

昭和49年 精神障害者の共同住居として活動開始



原点—平山寮の取り組み

病院を退院した寮生が  
地域住民の強力な支援を受け  
養豚・農業・漁業に取り組み  
自主運営・自主管理を実践し  
地域で自立生活の道へ

愛南町の伝統文化  
“闘牛”を通じて、  
地域住民とつながり続けた

## 共に生きる街へ（平成5年）

- 街に慣れる。街が慣れる。
- 当事者と共に

